

行財政改革特別委員会 具体的検討事項のまとめ

(調査事項：「新庁舎等に関すること」)

当委員会は、令和5年5月26日の臨時会において設置され、今期の調査事項を、「新庁舎等に関すること」および「行政のデジタル化に関すること」の2件とし、委員会を運営してまいりました。

このうち、「新庁舎等に関すること」においては、「新庁舎の基本設計」、「現庁舎跡地等」、「公有地の活用」という3つのテーマに分けて、調査・研究を行いました。

「新庁舎の基本設計」では、基本設計を進めるにあたっての基本的な考え方、アクセシビリティの手引き策定の取組み、新庁舎の環境性能の目標、建物概要や外観計画、都市計画にかかる事業者説明会の概要など、新庁舎整備に向けた検討状況について設計の進捗に応じて理事者より説明を受けながら、これまで計6回にわたって議論を重ねてまいりました。

「現庁舎跡地等」では、品川区庁舎跡地等活用検討委員会における庁舎跡地等の活用に向けた検討の時宜に合わせて議題とし、委員会での検討状況や委員より出された意見の紹介、ワークショップや対話型市場調査の実施結果等の説明を受けながら、これまで計6回にわたって議論を重ねてまいりました。

「公有地の活用」では、旧荏原第四中学校跡地および旧第一日野小学校跡地の暫定活用、旧荏原第四中学校跡地活用方針策定委員会において検討された結果をとりまとめた、「旧荏原第四中学校跡地活用方針(素案)」についての説明や、素案に対するパブリックコメントにおいて出された意見の紹介等を受けながら、これまで計3回にわたって議論を重ねてまいりました。

本まとめは、当委員会で調査・研究を重ねてきた内容を取りまとめたものであります。

なお、「新庁舎の基本設計」については、新庁舎整備基本設計まとめ前の令和5年11月に中間まとめを行ったところではありますが、中間まとめ後の調査結果から課題を整理し、今後の新庁舎整備業務に活かしていただくよう、意見のとりまとめをいたしました。

今後の品川区における行財政改革に関し、本委員会での議論で委員より出された意見や本まとめを活かして施策を展開していただくよう求めます。

記

○ 新庁舎の基本設計について

1 建物概要・外観計画について

- (1) 新庁舎の外観については、品川らしさが感じられるデザインになるよう、検討を進めること。
- (2) 新庁舎に設置を予定するエスカレーター付近やエレベーター内などに防犯の観点からの防犯

カメラの設置を検討すること。

- (3) 来庁者用の駐車場については、より多くの台数が確保できるように検討すること。
- (4) 電気自動車充電できる設備を駐車場に設けるよう、検討すること。

○ 現庁舎跡地等について

1 庁舎跡地の活用について

- (1) 跡地活用に関する区民意見については、様々な機会幅広く募集すること。
- (2) 跡地活用の検討にあたっては、今後も引き続き各所管と連携して進めること。
- (3) 対話型市場調査について、庁舎跡地等活用検討委員会等で出された意見を踏まえ、今後も段階的に行っていくこと。
- (4) 今後予定される活用計画の策定において、区民意見を的確に反映するため、策定委員会には区民の代表である区議会議員を選任すること。

○ 公有地の活用について

1 旧荏原第四中学校跡地活用方針について

- (1) 旧荏原第四中学校跡地活用方針策定委員会から提案された施設コンセプトを重視した施設の整備が実現するよう、さらに検討を進めること。
- (2) 基本計画策定に向けた庁内での検討状況について、適切なタイミングで議会に報告すること。
- (3) 複合施設の整備を検討するにあたり、周辺の図書館・体育館等、区有施設の今後の方向性も併せて検討すること。
- (4) 品川区にとって新しい形の施設の整備が検討されているため、施設コンセプトや導入施設等がより多くの区民に伝わるよう、今後も丁寧に周知すること。
- (5) 実施事業が他の施設では前例がないほど多岐にわたる上、それぞれに高度な専門的知見が必要となるため、まずは庁内で各所管の意見調整と取りまとめに責任を持つこと。また、運営体制の検討にあたっては過去の事例を踏まえ、適切な運営主体を検討すること。

行財政改革特別委員会 具体的検討事項のまとめ

(調査事項：「行政のデジタル化に関すること」)

当委員会は、令和5年5月26日の臨時会において設置され、今期の調査事項を、「新庁舎等に関すること」および「行政のデジタル化に関すること」の2件とし、委員会を運営してまいりました。

このうち、「行政のデジタル化に関すること」においては、品川区DX推進基本方針に基づく品川区の取組みを中心に計3回にわたって議論を行いました。

区民の視点からは、マイナンバーカードの総点検、来庁しない仕組みについて説明を受け、主にデジタル化による区民サービスの改善について議論を深め、各委員から様々な提案を行いました。

行政の視点からは、システム標準化の概要、チャットGPT活用の取組み、AI、RPA等を活用した全庁業務のデジタル化、新テレワークシステムを活用した柔軟な働き方の実現について説明を受け、主にデジタル技術を活用した業務の質の向上、効率化や柔軟化について、活発な議論が行われました。

また、品川区DX推進基本方針に基づく、令和5年度の品川区の取組状況のまとめについて報告を受けながら、様々な議論をいたしました。

本まとめは、当委員会で調査・研究を重ねてきた内容を取りまとめたものであります。つきましては、今後の品川区における行財政改革に関し、本委員会での議論で委員より出された意見や本まとめを活かして施策を展開していただくよう求めます。

記

○ 区民の視点について

- (1) 申請手続きについて、令和7年度末までに、漏れがないように全てをオンライン化できるように、取組を進めること。
- (2) 窓口でのキャッシュレス決済がより円滑になるよう、各窓口におけるキャッシュレス端末の適切な設置台数について、改めて検討すること。

○ 行政の視点について

- (1) チャットGPTの本格運用後も引き続き職員向け研修の実施および、より多くの職員が利用するような環境づくりに努めること。

- (2) 地方公共団体の基幹業務システムの標準化におけるガバメントクラウド上のシステムへの移行について、スムーズに行えるように準備を進めること。
- (3) 新テレワークシステム導入後も業務に関する情報の取扱いや端末のパスワードなどの管理等、情報セキュリティ対策について、引き続き職員への周知を徹底すること。
- (4) RPA等のデジタルツールの活用によって業務の効率化を図るにあたっては、さらに区民サービスが向上するように進めること。

災害・環境対策特別委員会 具体的検討事項のまとめ

(調査事項：「防災に関すること」)

当委員会は、令和5年5月26日の臨時会において設置され、今期の調査事項を、「防災に関すること」および「環境に関すること」の2件とし、委員会を運営してまいりました。

このうち「防災に関すること」においては、「避難計画、避難所運営、要配慮者支援」、「地域防災計画、受援体制」および「災害廃棄物処理計画」の3つのテーマに分けて、調査・研究を行いました。

まず、「避難計画、避難所運営、要配慮者支援」では、地震時・風水害時に対する避難の考え方、避難所の開設・運営、備蓄物資の管理・輸送、避難行動要支援者支援などについて理事者より説明を受け、区民避難所の環境改善および運営マニュアルの整備、避難行動要支援者における個別避難計画の策定状況などの議論がありました。また、後日の委員会では、支援物資の地域内輸送拠点である「京浜トラックターミナル」の視察を行いました。

次に、「地域防災計画、受援体制」では、「品川区地域防災計画」における令和5年度大規模修正の概要、人的・物的受援の体制などについて理事者より説明を受け、在宅避難における備えの重要性に係る啓発、物的受援における物資の滞留抑制などの議論がありました。

最後に、「災害廃棄物処理計画」では、計画概要や廃棄物処理の流れなどについて理事者より説明を受け、廃棄物の仮置き場の開設方法などの議論がありました。

本まとめは、当委員会で調査・研究を重ねてきた内容をとりまとめたものであります。つきましては、今後の品川区における災害・環境対策に関し、本委員会での議論で委員より出された意見や本まとめを活かして施策を展開していただくよう求めます。

記

○ 避難計画、避難所運営、要配慮者支援について

- (1) 災害時に要配慮者の安全が確保されるよう、当事者の声を聴きながら、実効性のある支援を図られたい。
- (2) 避難所を円滑に開設するため、開設の手順等が容易に習得・理解できる取組を検討されたい。
- (3) 避難所においては、プライバシーに配慮した授乳スペースや子どもの遊べるスペースを確保するなど、環境整備を進められたい。
- (4) 地域防災力の強化が進むよう、防災訓練における効果的な取組が他地域と共有され、区内に広く普及されるよう努められたい。

○ 地域防災計画、受援体制について

- (1) 在宅避難が基本であることを明確に示し、区民の自助の取り組みが図られるよう、さらなる普及・啓発に取り組まれない。併せて、発災時に在宅避難者が物資を漏れなく受け取ることができるよう、周知徹底を図られたい。
- (2) 物資支援においては、物資の滞留により混乱が生じぬよう、被災状況やフェーズに応じた情報発信を図られたい。
- (3) 地域住民の間で共助が図られるよう、防災訓練等を通じて人間関係が構築できる仕組みづくりを検討されたい。
- (4) 災害時のボランティアの受け入れについては、道路・交通機関の麻痺などの現実的な予測を捉えた、計画的な受援体制を整備されたい。
- (5) 女性ならではの視点や意見が反映されるよう、品川区防災会議等の会議体における女性割合を高められたい。

○ 災害廃棄物処理計画について

- (1) 災害廃棄物の分別においては、災害時に混乱が生じぬよう、区民への分別方法の周知に努められたい。
- (2) 廃棄物の仮置き場においては、発災時の状況に応じて開設することから、警察、消防等との連携や区民への周知を徹底するよう図られたい。

災害・環境対策特別委員会 具体的検討事項のまとめ

(調査事項：「環境に関すること」)

当委員会は、令和5年5月26日の臨時会において設置され、今期の調査事項を、「防災に関すること」および「環境に関すること」の2件とし、委員会を運営してまいりました。

このうち、「環境に関すること」においては、「エコルとごし、脱炭素社会への取組」「リサイクル、プラスチック削減、食品ロス削減」「SDGs」の3つのテーマに分けて、議論を重ねてまいりました。

初めに、「エコルとごし」の視察を行い、展示内容やZEB認証等の環境に配慮した取組等について調査し、後日の委員会にて「脱炭素社会への取組」と併せて議題としました。「品川区環境基本計画」におけるカーボンハーフ達成のためのロードマップなどについて理事者より説明を受け、区民への意識啓発のための各種事業への取り組み、区有施設の太陽光パネルの設置および断熱化の整備状況などの議論がありました。

次に、「リサイクル、プラスチック削減、食品ロス削減」では、資源回収、リサイクルの推進、食品ロス削減啓発のための取組などについて理事者より説明を受け、ごみの分別に関する周知方法、資源ごみの持ち去り防止策などの議論がありました。

最後に、「SDGs」では、「マイボトル給水機」利用促進に向けた取り組み、および事業者への再生可能エネルギー電力導入支援事業について理事者より説明を受け、区内事業者や企業等への周知などの議論がありました。

本まとめは、当委員会で調査・研究を重ねてきた内容をとりまとめたものであります。つきましては、今後の品川区における災害・環境対策に関し、本委員会での議論で委員より出された意見や本まとめを活かして施策を展開していただくよう求めます。

記

○ エコルとごし、脱炭素社会への取組について

- (1) エコルとごしにおいては、区民の環境意識のさらなる向上に資するよう、指定管理者と連携し、啓発事業の充実を図られたい。
- (2) 区所有施設における太陽光パネルの設置や断熱化など、脱炭素社会に向けた取組を区が率先して進められたい。
- (3) カーボンハーフ達成に向けて、多くの区民が貢献する意識を持ち、自主的な活動につながるよう、目標達成までの進捗状況を共有されたい。
- (4) 再生可能エネルギーのさらなる普及に向けた取組を図られたい。

○ プラスチック削減、リサイクル、食品ロス削減について

- (1) 区が主催するイベント等では、配布物等にプラスチック製品の使用を控えるなど、環境に配慮して開催されたい。
- (2) リサイクル促進のため、ごみの分別が適正に行われるよう、ICT を活用した効率的で利便性の高い周知方法を検討されたい。
- (3) 適正で円滑なリサイクルが図られるよう、資源ごみの持ち去り防止策について、さらなる検討を進められたい。
- (4) プラスチックごみの削減に係る取組を一層強化されたい。

○ SDGsについて

- (1) 事業者への再生可能エネルギー電力導入支援事業においては、区内の事業者や企業等のRE100 達成につながるよう、積極的な周知を図られたい。
- (2) 中小事業者に向けた再生可能エネルギー導入および省エネルギー促進に係る支援を強化されたい。